

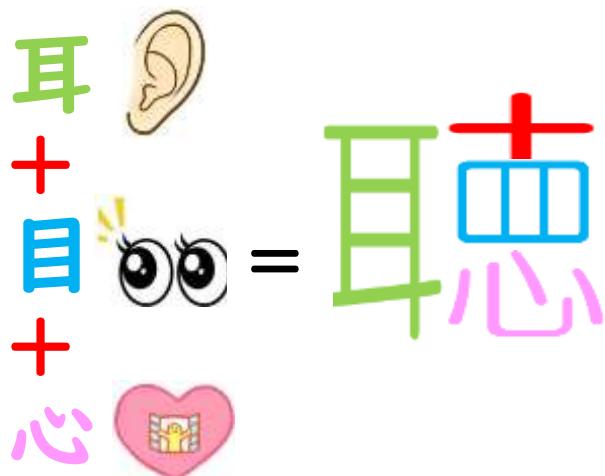


白川郷学園
教育相談だより No.5
令和7年10月7日

6年生児童 スクールカウンセラーによる「こころの授業」を行いました。

内容:「友達の声に耳を傾けよう～自分も相手もハッピーになる～」

10月3日(金)に、スクールカウンセラーの先生に「こころの授業」をしていただきました。授業では、相手の話を「最後まで聴くこと」の大切さや、うなずきや相づちで「聴いているよ」という気持ちを伝えること、自分の考えを押し付けるのではなく、相手の気持ちに寄り添うことなどを体験的に学びました。



耳だけでなく、
相手の表情やしぐさを“目”で見て、
相手の気持ちを“心”で感じながら、
“聴く”ことが大切だと教えていただきました。
ただ、言葉で聴くだけではなく、「どう思っているの
かな」、「どんな気持ちなのかな」と寄り添うこと
で、相手も安心し、自分もあたたかい気持ちにな
れることを子どもたちは体験しました。



子どもたちの感想

「聞いてもらえると安心する」
「話していて、楽しい気持ちになった」
といった感想があり、聞くことが友達関係を深める大切な力であることを実感していました。

思春期を迎える6年生にとって、友達関係は大きな支えとなります。お家でも「自分の話よりもまず聞いてみる」、「相手の気持ちを想像してみる」といった姿勢について話題にしていただけたと、子どもたちの心の成長に繋がります。